



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL https://corporate.gii.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	2,161	11.3	452	23.2	476	22.3	326	25.4
2021年12月期第3四半期	1,942	—	367	—	389	—	260	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 326百万円(25.3%) 2021年12月期第3四半期 260百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	110.76	110.44
2021年12月期第3四半期	96.16	89.28

(注) 2020年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年12月期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	2,551	1,938	76.0
2021年12月期	2,529	1,775	70.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 1,938百万円 2021年12月期 1,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2022年12月期	—	22.50	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,110	17.2	649	25.8	663	19.9	437	21.9	148.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	2,947,500株	2021年12月期	2,943,500株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	81株	2021年12月期	41株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	2,946,772株	2021年12月期3Q	2,707,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等のご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年1月1日~2022年9月30日)における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景とした地政学リスクの高まりや資源価格の高騰、各国の金融政策の変更に伴う景気減速懸念の高まり等により、先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が段階的に緩和され、緩やかな景気回復の兆しが見られるものの、急激な円安進行により依然として予断を許さない状況となっております。

そうした中、当社が属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社は当連結会計年度を初年度とした3か年の中期経営計画『GII Vision 2024』に基づき、商品面では、幅広い顧客ニーズに対応するため、機械翻訳ツールの活用等によりWEBサイト掲載レポートのラインナップ拡大を図っております。また、販売面では、ユーザビリティの向上を図るため、レポート本文の翻訳を行うAI翻訳ツールの無償提供を開始いたしました。4月にはコーポレートロゴを刷新し、各種WEBマーケティング施策と合わせて、更なる認知度拡大に向けた情報発信に努めております。

株式会社ギブテックにおいては、LPWA通信機器の製造販売ならびにLPWAを用いたIoTネットワークに係るコンサルティング・技術サポートを行っており、様々な分野での用途拡大に向け、事業展開しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,161,719千円(前年同期比11.3%増)、営業利益は452,845千円(前年同期比23.2%増)、経常利益は476,309千円(前年同期比22.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は326,384千円(前年同期比25.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、WEBサイト掲載商品の拡大や、AI翻訳ツールの無償提供等の収益拡大施策を実施してまいりました。国内部門においては、引き続き市場調査レポートの受注は順調に推移しており、前年同期の売上高を上回りました。海外部門においては、台湾支店が好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比11.1%増の1,834,412千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門においては、高単価の年間契約が前年同期と比較して増加しており、売上高は前年同期を上回りました。海外部門においては、韓国支店が好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比15.0%増の115,482千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門、海外部門ともに堅調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比19.1%増の164,818千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、国際会議・展示会が再開されるまで、人員等のリソースを他事業に振り向けており、本社部門、海外部門の両方において、売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比67.4%減の1,721千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比11.6%増の2,116,435千円となり、セグメント利益（営業利益）は462,460千円となりました。

（その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の製造販売を主な事業にしております。早期の本格的な量産化に向けて取り組んでおりますが、世界的な半導体不足等の影響を受けたことにより、売上高は前年同期比3.3%減の45,283千円となり、セグメント損失（営業損失）は10,604千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、22,102千円増加の2,551,836千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、23,498千円増加の2,464,860千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の35,794千円増加の一方で、売掛金の10,211千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、1,395千円減少の86,976千円となりました。この主な要因は、ソフトウェアの償却により921千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、141,547千円減少の612,982千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、152,903千円減少の339,197千円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の11,649千円減少、未払法人税等の130,387千円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、11,356千円増加の273,785千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の9,528千円増加等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、163,650千円増加の1,938,854千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の162,932千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は76.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表（2022年2月10日付）いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,091,184	2,126,978
売掛金	256,142	245,931
商品及び製品	628	4,030
原材料及び貯蔵品	15,334	11,067
前渡金	62,301	67,453
その他	15,770	9,399
流動資産合計	2,441,361	2,464,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,350	24,037
工具、器具及び備品（純額）	2,681	2,508
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	39,971	39,485
無形固定資産		
商標権	181	163
ソフトウェア	2,982	2,061
その他	465	465
無形固定資産合計	3,629	2,690
投資その他の資産		
繰延税金資産	18,288	18,599
その他	26,482	26,200
投資その他の資産合計	44,770	44,800
固定資産合計	88,372	86,976
資産合計	2,529,734	2,551,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,231	83,581
未払金	13,799	11,309
未払法人税等	169,767	39,380
未払消費税等	62,793	52,210
前受金	116,509	119,436
賞与引当金	4,822	17,055
その他	29,175	16,222
流動負債合計	492,100	339,197
固定負債		
退職給付に係る負債	19,487	21,315
役員退職慰労引当金	242,942	252,470
固定負債合計	262,429	273,785
負債合計	754,529	612,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,021	162,497
資本剰余金	141,283	141,759
利益剰余金	1,471,265	1,634,197
自己株式	△68	△145
株主資本合計	1,774,501	1,938,309
非支配株主持分	702	544
純資産合計	1,775,204	1,938,854
負債純資産合計	2,529,734	2,551,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,942,573	2,161,719
売上原価	1,063,039	1,148,880
売上総利益	879,533	1,012,838
販売費及び一般管理費	511,993	559,993
営業利益	367,540	452,845
営業外収益		
受取利息	144	223
為替差益	15,562	12,036
債務勘定整理益	6,552	11,294
助成金収入	185	56
その他	120	2
営業外収益合計	22,565	23,612
営業外費用		
上場関連費用	266	-
その他	245	147
営業外費用合計	512	147
経常利益	389,593	476,309
税金等調整前四半期純利益	389,593	476,309
法人税、住民税及び事業税	139,032	150,393
法人税等調整額	△9,759	△311
法人税等合計	129,272	150,082
四半期純利益	260,320	326,226
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△35	△157
親会社株主に帰属する四半期純利益	260,355	326,384

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	260,320	326,226
四半期包括利益	260,320	326,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,355	326,384
非支配株主に係る四半期包括利益	△35	△157

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、これによる利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,895,754	46,818	1,942,573	—	1,942,573
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,895,754	46,818	1,942,573	—	1,942,573
セグメント利益又は損失 (△)	387,912	△25,771	362,140	5,400	367,540

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去5,400千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,834,412	—	1,834,412	—	1,834,412
年間情報サービス	115,482	—	115,482	—	115,482
委託調査	164,818	—	164,818	—	164,818
国際会議・展示会	1,721	—	1,721	—	1,721
その他	—	45,283	45,283	—	45,283
外部顧客への売上高	2,116,435	45,283	2,161,719	—	2,161,719
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,116,435	45,283	2,161,719	—	2,161,719
セグメント利益又は損失 (△)	462,460	△10,604	451,855	990	452,845

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去990千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に対する影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。